



奄美市立住用中学校

絆

『学び』で可能性の扉を開く住用中

令和7年度

学校だより No.9

令和7年12月24日

「奄美群島日本復帰記念月間」に向けて

校長 中尾 奨

先日、生徒の皆さんに「12月にイメージすることは？」と尋ねたところ、クリスマス、トナカイ、ケーキ、大晦日との回答でした。12月には、奄美の人々にとって忘れてはならない日の12月25日「日本復帰記念日」があります。平和を願う上で復帰運動は、奄美群島の歴史を理解し、記憶を継承すべき出来事の1つであります。さらに、復帰運動の父である「泉芳朗」のことも語り継ぐ必要があります。折しも、今年は昭和100年、太平洋戦争の終戦から80年の節目にあたり、平和の大切さについて各自でしっかり考える平和学習を行いました。

戦後には、奄美群島や沖縄諸島などが日本国から切り離され、米軍占領統治下にて非常に厳しい環境の中での生活となりました。そのような状況を変えるため、群島民や出身者が力を合わせて各地での決起集会や集団断食などの日本復帰運動を行いました。その運動の甲斐あって、ついに奄美群島は昭和28年12月25日午前0時に、長く苦しい8年間を終えて、日本への復帰を果たしました。これは、群島民が一体となり組織的な無血の民族運動であり、世界的にも類を見ないものであります。各奄美群島では12月25日に「日本復帰記念日」の記念の集いが開催されており、今年で復帰72周年になります。

奄美市教育委員会は毎年12月を「奄美群島日本復帰記念月間」としており、先日の奄美市小中学校音楽発表会でも復帰の歌「朝はあけたり」を全体斉唱しました。

本校でも、歴史的経緯を踏まえながら、復帰運動を決して風化させることなく、次代を担う子どもたちへつないでいくことは今を生きる私たちの責務と考えています。管理・教室棟2階の多目的スペース廊下には、いつでも手に取れるように奄美群島日本復帰に関する資料を置いてあり、復帰運動継承の取組の充実を図っています。

令和7年(2025年)も残りわずかになってきました。生徒たちは、12月25日から1月7日まで14日間の冬休みになります。この期間には、年末年始の年中行事もあり気持ちを新たにするとともに、家族や親戚と過ごす時間を大切にして、絆を深める機会となるようにお願いします。

本年も、本校へのご支援ご協力ありがとうございました。来る年が、生徒・保護者・地域の皆さまにとって、良い年となるようにお祈り申し上げます。

人権教室



12月8日(月)に人権教室を行いました。12月10日の人権デーを最終日とする一週間を人権週間として毎年全国的に人権啓発活動が展開される活動の一環です。今年度は人権擁護委員の満香恵子さん栄和美さんが本校を訪れ、「インターネットによる人権侵害について」の講話がありました。

SNSは便利なアプリですが一方でいじめ、詐欺、ストーカー被害など多様な被害につながる危険性があります。2017年には判明した分だけでも全国で18歳以下1813人が被害を受けたという統計もあります。

講演では、はじめにDVD「SNSに潜む危険～書き込む内容・載せる動画～」を視聴しました。SNSで起こりがちないじめのきっかけとして、文字によるコミュニケーションの不足、未読無視や既読無視からのLINE外しなどの事例をもとに、①対面のコミュニケーションを大事にすること、②相手の状況を思いやることを学びました。また、犯罪に巻き込まれないために①知らない人とやり取りしない、②SNSで知り合った人に会わない、③専門の窓口相談するなどのことを学習しました。生徒たちが安全に使用してくれることを期待しています。

市音楽発表会



12月9日(火)に奄美市小中学校音楽発表会が行われました。住用中学校は午前の部の一番最初に出演しました。

これまでの練習の成果を発揮して、力強い演奏ができ、たくさんの拍手をもらいました。

閉会行事では市田立樹くんが「伝統を受け継いで取り組んできました。リズムがずれないように頑張りました。」と感想を述べてくれました。

成長を感じるよい機会になりました。

家庭教育学級「いのちの授業」



12月11日(木)に家庭教育学級が行われ、やどりぎ助産院の藤真理子先生をお招きして、「いのちの授業」というテーマで出産について講話をしていただきました。

藤先生は、助産師がどんな仕事か、新しい生命がどのようにして生まれるのか、どうやって産まれてくるのかということについて、わかりやすく教えてくださいました。その後、生徒たちは新生児の人形を抱っこさせてもらって生命の重さを味わったり、妊婦体験ジャケットを着たり持ったりして妊婦の大変さを体験しました。

続いて、住用診療所の野崎先生からは感染症のリスクについて講話をしていただきました。「ノロウイルス」「コロナウイルス」「インフルエンザ」などの感染症について、現在の状況や対応策を教えてくださいました。

命や健康について振り返るととても良い機会となりました。

薬物乱用防止教室



12月12日(金)に、薬剤師の師玉龍一先生をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。

例年全国で1万4千人もの人が薬物乱用で検挙されており、中でも近年大麻が継続的に増えています。また、若い世代では市販薬による過剰摂取も問題になっています。講話は、このような薬物乱用の実態を学んで、薬物乱用をしないという強い意志の育成や、薬物乱用につながる心の悩みをどう解決するかということについて考える機会となりました。

薬物乱用をしてしまう人は、正しい知識を持っていないか、心に寂しさを持っていたりするので、正しい知識をもち、安心して話せる人の存在が大切だという話を聞いて、生徒たちも深く納得したようでした。新納莉穂さんがみんなを代表してお礼の言葉を述べました。「誘われたらきっぱりと断ります」という気持ちがあらわれていました。

漢字検定に挑戦



12月15日(月)の放課後、漢字検定を行いました。今回は、タブレット端末を使って回答する新しいタイプの漢字検定「漢検オンライン」での受験でした。より良い進路選択をするために、そして日ごろの学習成果を十分に発揮するために、開始直前までテキストやタブレット端末を利用して丁寧に覚える生徒の姿が印象的でした。検定を通して学びに向かう姿勢がしっかり育っていると感じました。このような取り組みが自分の自信につながり、目標の発見や、さらなる挑戦へと発展していきます。また一歩ずつステップアップしていく生徒たちの今後の楽しみです。

3校合同大島紬着付体験学習



12月18日(木)、本場奄美大島紬産地再生協議会のご協力のもと、東城小中学校で住用地区中学校3校合同大島紬着付体験学習を行いました。生徒たちは奄美の伝統文化である大島紬の歴史・製法などをクイズ形式で学んだ後、スタッフの方々の手ほどきを受けながら着付けに挑戦しました。りりしく美しく着こなしていて、各学校の先生方から記念に写真を何枚も取ってもらっていました。楽しみにしていた生徒が多かった今回の着付け体験学習。世界に誇る「本場奄美大島紬」をより一層身近に感じたことと思います。

1月の主な行事

- 1/3(土) 名瀬・住用地区二十歳のつどい
- 1/8(木) 始業式・3年実力テスト(~9金)
- 1/9(金) 席書会
- 1/20(火) 鹿児島学力・学習状況調査(~21水)
- 1/25(日) 鹿児島高校入試(アマホーム PLAZA)
- 1/26(月) 樟南高校入試(奄美川商ホール)